

# 認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

## ORMZ ニュース第 155 号 (R6.7.10)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



**はじめに** 7月、北海道を除く全国で梅雨入りとなりましたが、各地で酷暑が続いていて、熱中症対策が求められています。豪雨対策のみならず、熱中症対策にも備えたいと思います。

さて、ORMZ ニュース第 155 号は、ヘルスポスト譲渡式の特集号です。

多くの人々が参加し、盛大にセレモニーが開催されました。

また嬉しいことに、山元先生が始められた 10 数年に及ぶ活動に対して、在ザンビア日本大使館から「在外公館長表彰」が贈られました。皆様と喜びを分かち合いたいと思います。これまでの多大なるご支援に心から感謝申し上げます。

### ヘルスポスト譲渡式

6月28日金曜日、ヘルスポストの譲渡式が開催されました。

チサンバ郡保健局長ギデオン・パンジャ氏による歓迎の挨拶に始まり、山元先生挨拶の後、中央州保健局長エリジャ・ムトロキ氏、チサンバ議会議長のフレッド・チョオンゴ氏が挨拶をされました。続いて、在ザンビア日本国大使館臨時代理大使の大湊諭氏、国会議員代理ビック・シクワンガラ氏からお祝いの言葉をいただきました。

挨拶の間には、地域の人々による歌や踊りも披露され、最後に、チャムカ王国チャムカ首長（チーフ・チャムカ）から感謝の言葉が述べられ、テープカット、プレートの除幕式が行われました。

パンジャ保健局長 歓迎の挨拶



山元先生の挨拶



大湊諭臨時代理大使のご挨拶



歌や踊り



バイクのお披露目



チーフ・チャムカ 感謝の言葉



その後、迅速な活動のために贈呈されたバイクのお披露目、ヘルスポスト内の案内などが行われました。(山元先生も皆さんとダンスを踊られました。その様子は [facebook](#) でご覧いただくことができます)



車椅子や担架



ベッド



分娩台他



式典参加者そろっての記念撮影

ルアノ地区7村の全村長をはじめ、地域の人々も数多く参加され、ヘルスポスの完成、譲渡を皆さんで祝っていただきました。

そして、ORMZのこれまでの活動に対して、在ザンビア日本大使館から「在外公館長表彰」をいただきました。



私達の活動に参加されていた、呼吸器内科医で現在ロシナンテス所属の小川恵先生からお手紙をいただきましたので、一部抜粋して掲載いたします。

\*6月28日のルアノのヘルスポスの開所式にも参加させていただきました。ルアノ地区は初めて訪れましたが、他の施設からかなり離れており、道路が整備されていないエリアにたくさんの人々が住んでいることに驚きました。この地区にヘルスポスが開設されることで、住民に大きな利益がもたらされます。開所式前から住民の方が集まっており、踊りや歌などを披露していて、ヘルスポス開設に対する歓迎と感謝の意を感じました。

私は、呼吸器内科医師として茅ヶ崎、横浜で勤務しておりましたが、2023年3月から一旦休職し、現在はロシナンテスでボランティアをさせて頂いております。今後は公衆衛生系の大学院の進学を考えています。今回の ORMZ さんの活動見学や巡回診療を通じて、現地の医療環境や長期継続・地域に密着した医療活動の重要性を理解することができました。今後の自分のキャリアにおいても役立てたいと思いました。小川 恵

2024年7月5日

## 現地活動報告（山本ひとみ）

### 【巡回診療】

#### 6月5日 ルアノ

- ・診療数 107 名、マラリア陽性数 13 名中 3 名 妊産婦検診 22 名、道中の診察 2 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、胃腸炎、腰痛などからだの痛み、皮膚疾患
- ・重症例、搬送例：0 名
- ・6月24日から Child Health Week があるため、カプチヘルスポストのスタッフは同行せず。
- ・チペンビルールヘルスセンターからクロリン 31 本を受け取った。ファミリープランニングに来た人全員に配るには足りないなので、薬の処方箋にクロリンがある人に使った。
- ・チペンビルールヘルスセンターから、ファミリープランニング用の注射薬 (Noristerat) と服薬 (ZinniaF) を受け取った。Noristerat は 2 か月ごとに受けるタイプのもので、ファミリープランニングの錠剤薬をセンターから受け取るのは初めてだった。



前をいく車のためにノロノロ運転

#### 6月12日 サンダラ

- ・診療数 42 名、マラリア陽性数 5 名中 0 名 妊産婦検診 7 名、
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、腰痛などからだの痛み、頭痛
- ・重症例、搬送例：なし
- ・6月24日から Child Health Week があるため、カプチヘルスポストのスタッフは同行せず。
- ・道中の診察：咳をする 1 歳の男児
- ・ファミリープランニング用にチペンビルールヘルスセンターから Depo 剤（注射薬）と ZinniaF（服薬用）を受け取った。
- ・活動に参加する予定だった看護師一人が、鍵の故障のため夜勤をしていたクリニックに閉じ込められた状態になり、参加できなかった。



身体測定の様子



帰り道にタイヤがパンク

#### 6月26日 ニャンカンガ

- ・診療数 100 名、マラリア陽性数 20 名中 9 名 妊産婦検診 5 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、腰痛などからだの痛み、皮膚疾患、胃腸炎
- ・重症例、搬送例：なし
- ・予防接種の種類：OPV（経口ポリオ）& PCV（肺炎球菌）& DPT-HepB-Hib（五種混合：ジフテリア、百日咳、破傷風、B型肝炎、ヒブ）& ROTA（ロタウイルス）：24，MRV（麻疹風疹）：11，IPV（不活化ポリオ）：5，BCG：6



この日は気温が低く、毛布やチレンゲで赤ちゃんを防寒

- ・ムワプラヘルスポストのスタッフは、ニャンカンガプライマリースクール(Nyankanga Primary School) で子宮頸がんワクチンの接種も行った。
- ・到着したら寝転がっている人がいた。マラリア陽性で座るのもつらく、寝転んでいた男児1名。足を怪我して杖をつき、体が痛いと言っていた女性1名。
- ・小川恵先生(呼吸器内科医師・ロシナンテスでボランティア中)が同行



座る気力もなく寝転がっている男の子。マラリア陽性でした

### **賛助会費・ご寄附の納入は辞退します**

・2月に開催しました総会にて本年中の法人解散の方針が決まりました。なお、これまでいただいたご寄附等による正味財産が多額であることから、今年の賛助会費、ご寄附は辞退します(不要となりました)ので、ご理解くださいますようお願いいたします。

**多くの皆様のご支援に心から感謝申し上げます。**